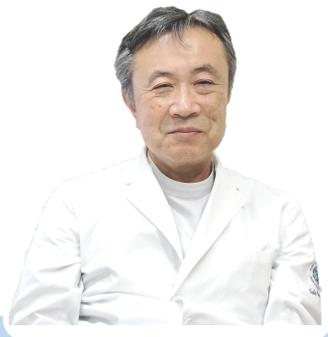




新年のご挨拶

副院長 放射線科 伊藤 邦泰



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年も地域医療に貢献できるよう、職員一同邁進してまいります。CT・MRIによる画像診断は、疾患の早期発見や治療方針の決定に欠かせない役割を担っております。地域医療を担う医療機関の皆様におかれましては、これらの検査を迅速にご活用いただくことで、受診者様の不安軽減や診断精度の向上につながり、より質の高い医療提供が可能となります。当院では、その一助となるべく体制整備を進めてまいりました。昨年度は34の診療所よりご紹介を賜り、CT検査数534件、MRI検査数360件を実施いたしました。多くの先生方に信頼を寄せていただいておりますこと心より御礼申し上げます。予約は専用電話にて即時対応するとともに、24時間365日利用可能なインターネット予約にも対応しております。原則翌日以降の検査となりますが、当日の検査にも柔軟に対応いたします。造影検査にも対応可能です。また、土日祝日も検査を実施しており（造影検査は除く）、受診者様のご都合に合わせて最適な方法でご予約いただけます。読影体制については常勤の放射線診断専門医2名が担当し、継続性と責任を持った診断を提供でき、臨床現場とのスムーズな連携が可能です。読影報告書は、原則として検査翌営業日までには作成し、速やかにお届けいたします。本年も地域医療の一助となれるよう尽力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

活動紹介「第5回看護研究発表会」

令和7年12月4日（木）磯子中央病院にて第5回看護研究発表会を開催しました。本発表会は「日常看護実践を研究論文としてまとめ、互いの成果を共有し合い資質の向上を図るとともに、今後の看護実践に役立てる」ことを目的としています。日頃の看護実践の中から課題を見いだし、取り組みを報告するとともに、意見交換ができる貴重な機会となっています。今年度は3題の演題発表があり、参加者同士で成果を共有しました。選出された演題はグループ内看護研究発表会で発表しています。日々の看護業務と並行して研究に取り組むことは容易ではありませんが、やりがいや達成感を得ることができます。今後も自分たちが実践している看護を客観的に評価し、さらなる看護の質の向上に努めていきたいと思っております。

演題

4階病棟

頻回なナースコールによる看護・介護スタッフの精神的影響
～ナースコールの分析から看護・介護スタッフが感じる感情と影響について～

2階病棟

看護師の職務満足度と離職要因に関する調査研究
～A病院における離職率低減に向けた検討～

3階病棟

当院における身体拘束の現状と身体拘束最小化に向けた今後の取り組み



（グループ内看護研究発表会の一場面）

磯子中央病院 患者総合サポートセンターのご紹介

いつも患者様の情報提供や退院前カンファレンスへのご協力を賜り、誠にありがとうございます。当院「患者総合サポートセンター」は、医師1名・看護師4名・社会福祉士3名・社会福祉主事1名・事務2名で構成され、地域連携、退院支援、医療・福祉相談を中心に業務を行っています。当院は、地域包括医療病棟・回復期リハビリテーション病棟・一般病棟の各60床を有する二次救急指定病院です。地域医療や救急医療に各病床を有効に活用するため、病病・病診連携担当が専用携帯電話を携帯し、随時対応しております。なお、当日の外来診療・救急搬送・入院が必要な場合は、Dr. to Dr. でのご連絡、または外来に直接の連絡をお願いいたします。少子高齢化が進む現在、単身独居や老々介護に加え、経済的問題・住環境の問題など、入院をきっかけに様々な生活課題が明らかになるケースも多々あります。施設入所を選択される方、住み慣れた自宅への退院を希望する方など、それぞれが「その人らしく生活できる場所」を選択できるよう、丁寧な退院支援に努めております。しかし、課題を抱えたまま自宅退院に至るケースも少なくなく、かかりつけ医、行政、介護支援専門員、介護サービス事業者、そして地域の皆様の協力なくして、退院支援業務は成り立たないのが現状です。地域の皆様から「患者サポートセンターがあって良かった」と思っていただけのセンターを目指してまいります。引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

サポートセンター
必携グッズ!



活動紹介「第20回介護部合同会」

私たちひかりグループの介護スタッフは、年に2回（夏季・冬季）、全国の事業所スタッフが集まり、利用者様・患者様へのサービスやケアの質向上、さらにリーダーシップを担う職員の意識向上や指導力強化を目的とし、各年度の活動方針や目標を設定し合同会に参加しています。介護部では共通理念として「安心・安全の追求」を掲げています。利用者様・患者様・ご家族の皆様「このグループにお世話になって良かった」と感じて頂けるよう、「安心」につながる「安全」の確保を徹底していく取り組みを進めています。また、スタッフ一人ひとりの業務に応じた独自の教育プログラムとして、業務ガイドラインである「SPICEプログラム」と、業務知識や習熟度を評価する「SAUCEシステム」をグループ全体で共有・活用しています。これらは年2回の合同会において、社会情勢や現場の課題を踏まえながら継続的にアップデートに取り組んでいます。今年度の取り組みとしては、前期にSAUCEシステムを用いたアンケートを各事業所に配信し、事業所の強みと弱みを分析・発表しました。その結果をもとに「安心・安全の追求」をさらに進めるためのディスカッションを実施しました。後期には、各事業所の利用者様・患者様・ご家族様に対し、日々の不安や心配事について聞き取り調査を行い、その結果に基づく考察を発表し、課題と取り組みについてディスカッションを行いました。これからも引き続き地域の介護・福祉の現場に貢献できるチーム作りと、より良い人材育成に向けた活動を続けて参ります。

